

2025年度ルール説明

2025年4月20日

講師: 高橋 充代

編集: 橋本 満則

内容

➤ この資料は、

厚木市テニス協会が主催する大会の運営を行うにあたり、運営担当理事や幹事団体の皆さん向けに、大会中に現場で起こりそうな事例を紹介し、適切に対応できるようにするためのルール説明資料です。

1. テニスルール
2. 2025年ルール変更点
3. 知っておきたいルール

1. テニスルール

JTAテニスルールブック2025

第1部 テニスルール

規則1～31、試合中に起こるケースの判断、セルフジャッジの方法 など

第2部 JTA公式トーナメント管理関連規則

公式大会、ベテラン大会の大会運営の規則

第3部 JTA公式トーナメント競技関連規則

大会の進行方法、メディカルルール、トイレ休憩など

第4部 JTA公式トーナメント コードオブコンダクト

エントリー方法、服装、倫理違反などの規則

第5部 ランキング関連規則

JOPランキング、JOPベテランランキング

第6部 コートオフィシャルの手引き

大会役員(レフェリー、アンパイア)の役割

第7部 登録関連規則 第8部 JTA関連規則 第9部 参考

2. 2025年ルール変更点

本資料のなかの **Pnn** は【JTAテニスルールブック2025】のページ番号を示しています。
本資料では要約したり、一部のみの説明になっていますので、必ず【JTAテニスルールブック2025】をお手元に置いてご覧ください。

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

5

2025年ルール変更点(1/2)

◆ <フットフォールのコール>

P196

・フットフォールをコート内外からコールできる

ただし、「プレーヤーに伝えトスをする」とありますので、厚木の大会の場合はプレマッチミーティングのある決勝戦だけになります。

厚木の大会で幹事団体がロービングアンパイアを行う場合は今までと同じになります。実際の運用については、当日の担当理事の指示に従って対応してください。

余りひどくはないが踏んでいる程度は運営担当に連絡して試合後注意してもらう。

ひどい場合は運営担当が次ページの対応を行う。

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

6

2025年ルール変更点(1/2)

フットフォール確認の手順

コートの外から取れるといっても、いきなり外から取るではありません。段階的に注意をし最終的には外からフットフォールを取ります。

SCUのつかない試合は下記の手順でフットフォールを見ます。

1. フットフォールをしていそうな選手がいたら、はっきりと確認出来る場所に移動しフットフォールを確認する。(この時点で運営担当に連絡して一緒に対応しましょう。)

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

7

2025年ルール変更点(1/2)

2. フットフォールをしていることが確認出来たら、エンドチェンジ時にコートに入り「フットフォールをしているように見えます」「コート外からでもフットフォールを取ることがあるので、気を付けてください。」と両選手に伝えコートを出る。(していない選手にも伝える)
3. 引き続き、確認出来る場所でフットフォールを確認する。(していない選手も同じように確認する)
4. フットフォールをしたら、「フットフォール」のコールをし「フットフォール」を取る。フットフォールが改善しない間は継続して見る。

※ 2. の後は、フットフォールをしなくなる選手がほとんどですが、それでもする選手は取る。

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

8

8

2025年ルール変更点(2/2)

◆ <コーチング>

P23

・コート外からのコーチングができるのは、JTAによって許可された大会のみで、厚木の大会はその対象ではないため、コーチングはできません。

・チーム対抗戦はルールブックに記載されたタイミングでオンコートコーチングは可能です。

P49

ただし、**厚木の団体戦では、大会要項に沿ってオンコートコーチングは可能ですが、コートの外からコーチングはできません。**

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

9

3. 知っておきたいルール

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

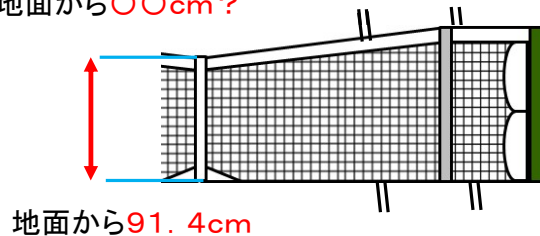
10

3.1 ネット

◆ ネットの高さ(センターストラップ)

P7

地面から〇〇cm?



地面から91.4cm

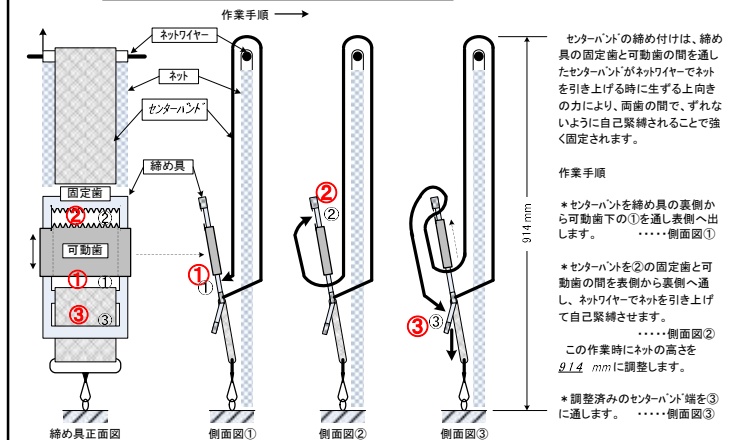
All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

11

11

センターストラップのつけ方

センターストラップの締め付け方



All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

12

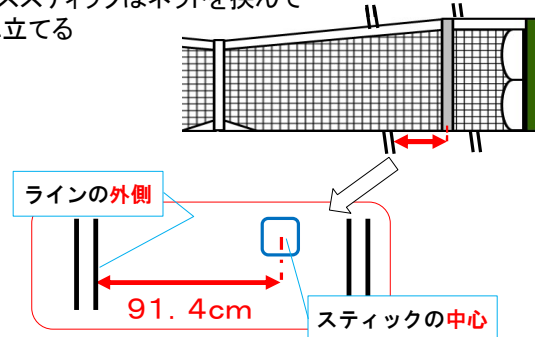
12

3.2 シングルススティック

◆ シングルススティックの立て方

P7

- シングルスサイドラインの**外側**からスティックの**中心**まで 91.4cm
- シングルススティックはネットを挟んで反対側に立てる



All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

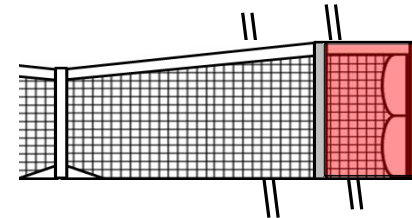
13

13

3.3 パーマネントフィクスチャー

◆ シングルススティックの外側のネット

P8



- インプレー中にボールが触れた後正しくコートに入ったら、レットになるか？

答え: 失点

- インプレー中に手やラケットが触れたら、失点になるか？

答え: 問題ない、プレーを続行する

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

14

14

3.4 ボール

◆ <ボール>

P8

- 試合中にAが打ったボールがパンクし、Bのコートに入ったがBは返球できなかった。

Bは失点するか？

答え: レット

- 試合中にBは柔らかくなったと感じたが、プレーを続行してAがポイントを決めた。

Bはレットだと主張したが認められるか？

答え: ポイント成立

以後の対処:

他の試合球と比べる 柔らかければ交換

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

15

厚木テニス協会

3.5 連続的プレー

◆ <ポイント間>

P22

- ポイントとポイントの間は〇〇秒以内か？

答え: 25秒以内

◆ <エンド交代の時>

- エンド交代は〇〇秒以内か？

答え: 90秒以内

ただし、各セット第1ゲーム終了後とタイブレークゲーム中は、エンド交代をする時でも休憩はできない。

◆ <時間を超えたら>

- タイムバイオレーション: 1回目: 警告、2回目以降: 失点
(サービスのタイムバイオレーション説明は次ページ)

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

16

3.6 サービスのタイムバイオレーション

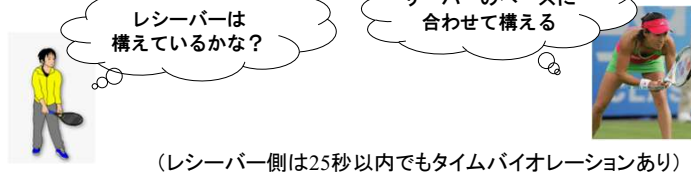
<サーバー>

P16

- サーバーは、ポイント間の**25秒**以内にサーブの動作を開始しなければならない。
⇒1回目：警告、2回目以降：フォールト
- ただし、**レシーバーの用意ができるまでサーブしない。**

<レシーバー>

- レシーバーは、サーバーの理にかなったペースに合わせ、
サーバーがサーブをしようとする時までには返球の用意をする。
⇒1回目：警告、2回目以降：失点



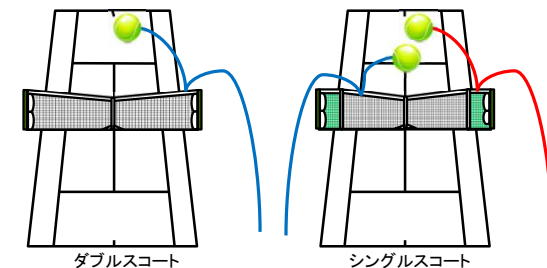
All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

17

17

3.7 ネットに当たったボール

- ダブルスの試合でラリー中のボールがネットまたはネットポストに触れたが相手コート内に入った。**グッド?** アウト? P19
- シングルの試合でラリー中のボールがシングルススティックより内側のネットまたはシングルススティックに触れたが相手コート内に入った。**グッド?** アウト?
- シングルの試合でラリー中のボールがシングルススティックより外側のネットに触れたが相手コート内に入った。グッド? **アウト?**



All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

18

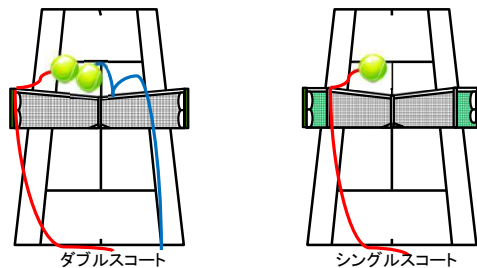
18

3.7 ネットに当たったサーブ

- ダブルスの試合でサーブのボールがネットに触れたが相手サービスエリアに入った。**レット?** フォールト?
- ダブルスの試合でサーブのボールがネットポストに当たったが相手サービスエリアに入った。レット? **フォールト?**
- シングルの試合でシングルススティックに当たったが相手サービスエリアに入った。レット? **フォールト?**

P16

P17



All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

19

19

3.8 エンドとサービスの選択

・AB組がコイントスに勝ったので、CD組に選択権を与えた。CD組は「こちら側でレシーブします」と返答した。
これでゲームを開始してよいか?

P12

答え: **エンドかレシーブのどちらかしか選べない**

- 「コイントスはウォームアップの前に行い、トスの勝者はどれか一つを選ぶことができる」
 - ① **サーバーになるかレシーバーになるかを選ぶ**
 - ② **エンドを選ぶ**
 - ③ **どちらかを先に選ばせる** (オポネントチョイスと言います)

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

20

20

3.9 エンドの交代

◆ <各ゲームでのエンド交代>

P13

- ・各セットで奇数ゲーム(1,3,5,7,9,...)が終了したらエンドを交代
- ・セットが終わったときのゲーム合計が
 - ①奇数のとき: エンド交代して次のセット開始
 - ②偶数のとき: エンドはそのまま次のセット開始
- ・タイブレーク中は6ポイントごとにエンド交代
- ・間違ったエンドにいたことが分かった時は直ちに、スコアに応じた正しいエンドからサービスする。

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

21

21

3.10 タイブレーク

<タイブレーク後のエンド>

P13

- ・AB組がサーブを開始し、エンドチェンジ後AB組が7-2で取って終了した。次のセット、AB組は同じエンドで開始した？

答え: エンドが逆

次のセットは、タイブレークで最後のポイントが決まったエンドと反対のエンドから開始する

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

22

3.10 タイブレーク

<タイブレーク後のサービス>

P11

- ・AB組がサーブを開始、CD組のサービスエースで終わった 次のセットのサービスは？

答え: CD組

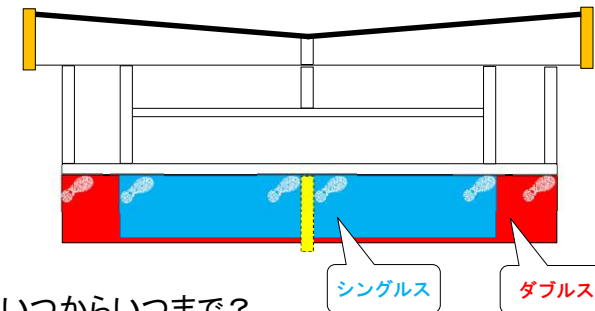
次のセットは、タイブレークで最初にレシーブした組からサービスを開始する

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

23

3.11 フットフォールト

P15



・いつからいつまで？

サービスのモーションからボールを打つまでの間

・サービスのモーションはどこから？

サービスのトスを上げる前に静止した状態から動作を始めたとき

RU

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

24

24

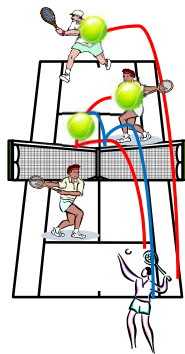
3.12 サービスのレット・フォールト

◆ サービスのレット

- サーブされたボールがネット、ストラップまたはバンドに触れたが、レシーバー側のサービスコート内に正しく入ったとき
- サーブされたボールがネット、ストラップまたはバンドに触れたあと、地面に落ちる前にレシーバーまたはレシーバーのパートナーまたはその着衣や持ち物に触れたとき
- レシーバーが返球の用意ができていないときにサービスを打ってしまったとき

◆ サービスレットの場合はそのサービスをやり直す

- セカンドサーブならセカンドサーブを



All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

25

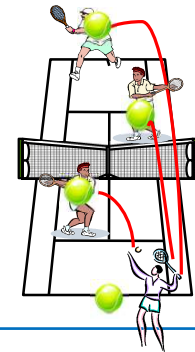
25

3.12 サービスのレット・フォールト

- ・サーブしたボールが直接レシーバーに当たったら
レット？ フォルト？ **レシーバーの失点？**

- ・サーブしたボールが直接パートナーに当たったら
レット？ **フォルト？**

- ・セカンドサービスの動作を開始した後に、ボールが入ってきてレットになった
ファーストサーブ？ セカンドサーブ？



All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

26

26

3.13 ポイントのレット

- ◆ サービスのレット以外はレットがコールされるとポイントのやり直しになり、**ファーストサービスから再開**します。

◆ インプレー中に

- 隣のコートからボールが転がってきたとき
- 隣のコートから転がってきたボールにプレー中のボールが当たったとき
- 持ち物を落としたとき
- シングルススティックが倒れたとき、**など 妨害と感じたとき**

- ◆ セカンドサービスのモーションに入った後にボールが転がってきたとき

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

27

27

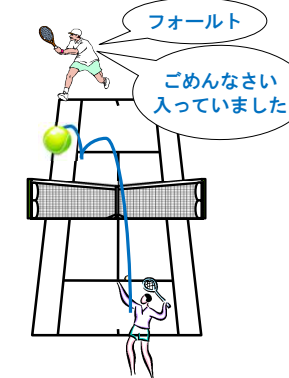
3.13 ポイントのレット

- ◆ セカンドサーブが**ネットに触れた後**
レシーバーがミスジャッジをしたがすぐに訂正した

- ・レシーバーの失点？

失点しない

セカンドサーブのやり直し



All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

28

28

3.14 ポイントレットの取り消し

＜ポイントレットの取り消し＞

- ◆ インプレー中のレットのときはボールの行方によってレットが取り消されることがあります。(打った後にレットをかけた場合)
 -
 - ① 飛んでいたボールがネットを越えなかったまたはアウトのとき
⇒ 打ったプレイヤーの失点
 - ② 明らかなウィニングショット、エースのとき
⇒ 打ったプレイヤーの得点
- 上記の状況が起こった場合は、レットが取り消されポイントが成立し、妨害はなかったと判断する。

P195

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

29

29

3.15 ボールの侵入(1)

- ◆ インプレー中に他のコートからボールが転がってきたときは、レットがコールされポイントのレットとなります。ただし、レットがコールされたときに、レットが取り消されポイントが成立する場合があります。(前ページ)
- ◆ セカンドサービスの前に他のコートからボールが転がってきたときは、妨害にはあたらない。ただし、セカンドサービスのモーションに入った後にボールが転がってきたときは、プレーが妨害されたとして、ポイントレットとなり、ファーストサービスからやり直す。
- ◆ ボールが転がってきたときに、だれがレットをかけられるか？
セルフジャッジの場合: 試合中の選手誰でもOK
SCUがいる場合: SCUのみ

P46

P47

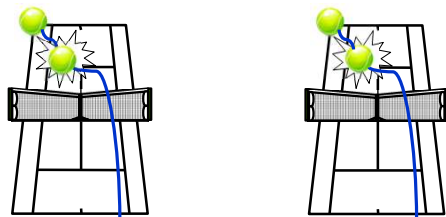
All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

30

30

3.15 ボールの侵入(2)

- ◆ 隣のコートから転がってきたボールにプレー中のボールが当たってしまった。レット? プレー続行? P46
- ◆ フォールトしたファーストサーブのボールをコート内に転がしたままセカンドサーブを打ちプレーしていたら、転がしたボールにプレー中のボールが当たってしまった。レット? プレー続行? P19



P19

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

31

31

3.16 持ち物を落としたとき(セルフジャッジ)

- ◆ インプレー中にプレイヤーが持ち物(帽子、ボール、サングラスなど)を落としたときは
 - 落とした本人はレットをかけられない
 - 相手選手は妨害と感じたら1回目はレットをかけ、「今後落し物をしたら、その度に失点になります」と注意する
 - 2回目以降は故意による妨害と判断され失点する
- ◆ ラケットを落とすこと、シューズが脱げることは妨害に当たりません。

P47

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

32

32

3.17 筋ケイレン

- ◆ 筋ケイレンの場合、選手はエンド交代時またはセットブレイクの時間内に限り治療できる。**(メディカルトリートメント)** **P124**
- ◆ 筋ケイレンがおきても次のエンド交代時またはセットブレイクまでプレーを続けなければならない。
- ◆ 深刻な筋ケイレンのためプレーが全く出来ない場合には、**リタイア(棄権)**をするか、あるいは次のエンド交代またはセットブレイクまでの**ポイント**を**放棄**しなければならない。
 - 3-2の40-0でプレーができなくなってしまったら、そのゲームと次のゲームを放棄して、3-4となったエンド交代の90秒以内で治療する。
 - または、次の2ゲームも放棄して、3-6となったエンド交代の90秒+90秒以内で治療することもできる。
- ◆ ケガを理由にMTO(**メディカルタイムアウト**)を要求しても、大会役員に筋ケイレンと判断されたら、ただちに試合を再開しなければならない。

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

33

33

3.18 セルフジャッジ 判定のコール

＜判定とコールをできる選手(組)＞

- ◆ 「フォールト」「アウト」「グッド」
 - …ネットから自分側の選手・組



ハンドシグナルと大きな声で！

- ◆ 「ネット」「スルー」「タッチ」「ノットアップ」「ファウルショット」
 - …両選手・組

- ◆ 「フットフォールト」
 - …審判員(R, AR, RU)
 - ※選手はコールできません

P195

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

34

34

3.19 セルフジャッジ 「アウト」「グッド」の判定

1. セルフジャッジの方法

P241

- ：
- 2) ネットより自分側のコートについて判定とコールをする。ボールがラインにタッチした時、**ボールとラインの間に空間が見えなかった時**、あるいはボールを見失って判定できなかった時は「グッド」である。
- ボールとラインの間に、はっきりと空間が見えた時は「アウト」または「フォールト」である。

お互いにきちんと状況を判断し、スポーツマンシップに則り試合を進めてください。

お互いの判定が食い違い同意できない時は、R・AR・RUに裁定を求めてください。

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

35

3.20 セルフジャッジ5原則

- ① 判定が難しい場合は「グッド」(**相手に有利に**)！
- ② 「アウト」または「フォールト」は**ボールとラインの間に、はっきりと空間が見えたとき**！
- ③ サーバーはサーブを打つ前に、レシーバーに聞こえる声でスコアをアナウンス！
- ④ ジャッジコールは、相手に聞こえる声と、相手に見えるハンドシグナルを使って**速やかに**！
- ⑤ コートの外の人、セルフジャッジへの口出しはしない！

P241

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

36

36

3.21 セルフジャッジ コレクション

- ◆ 「アウト」「フォールト」とコール(ミスジャッジ)した直後に、自分で「グッド」と訂正(コレクション)、返球が相手コートに正しく入った場合

- 1回目は「故意でない妨害」として**ポイントレット** P195
ただし、ミスジャッジの前に打たれたボールが明らかなウイニングショット/エースの時はミスジャッジした選手の失点。
- 2回目以降は「故意に妨害した」として**失点**
ただし、本人が1回目であっても失点と認めたら失点が有効となります。(ポイントのコンシード(Concede))

- ◆ ダブルスでは1人のプレーヤーが判定すれば成立するが、ペア間で判定が食い違った場合にはそのペアは失点する。

ダブルスのペアの判定が食い違ったとしても上記と同様にプレーヤー/チームが「グッド」に訂正した場合も上記と同様の扱いになる。

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

37

3.22 セルフジャッジ 妨害に対するコール

「かまえて！下がって！」と叫んだことを、対戦相手が妨害と判断したら、「レット」をコールして、R・AR・RUに申し出る。

妨害と判定されたら、叫んだ方が失点となる。

P195

レットをかけずにプレーを止めたら、止めた方が**失点**になる。

- ・インプレー中に出して良い声は、「アウト」「レット」「フォールト」
ボールがネットよりも自分側にある場合は妨害とみなされにくい、ボールが相手側にある場合は妨害とみなされやすい。

16) 対戦相手からの故意の妨害

対戦相手からの故意の妨害「ヒンダランス」は**妨害を受けたプレーヤー・チームが「レット」をコール**し、R・AR・RUに申し出て判断をおおぐ。ただし、妨害を認知しながら意識的にプレーを続行した場合は妨害とはみなされない。

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

38

38

3.23 トイレットブ레이크

- ◆ トイレットブ레이크

- 5セットマッチ 女子ダブルス 試合なし

P126

試合のフォーマット	男女共通	男子	女子
	シングルス	ダブルス	ダブルス
3セットマッチ	1試合1回	1試合ペアで1回	1試合ペアで2回
5セットマッチ	1試合2回	1試合ペアで2回	—

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

39

3.24 リタイアの対応

- ◆ 選手はリタイアをR/RUに申し出る
リタイアは選手同士ではできません

P125

- メディカルタイムアウトを取りたい時は、R/RUに申し出る。
- 怪我やケイレンでこれ以上試合を続けられない場合のリタイアしか想定していないため、他の理由によるリタイアについては明文化されていませんが、どのような理由にいても**リタイアの最終判断はレフェリーまたは担当理事が行います**。
- シングルの試合でリタイアした場合に、当日のダブルスに出場できるかどうかはレフェリーの判断が必要。

※トイレに行きたくなくなった場合も同様にR/RUに申し出てください。緊急時を除いて、トイレはセットブレイクでしか取れません。

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

40

40

3.25 電子機器の使用

<電子機器の使用の禁止>

- ▶ スマートフォンと連動できる機能や通知の閲覧機能がついているスマートウォッチ（審判員も含む）

※電源が切られていた状態でもNG

- ▶ マッサージガン（例：DOCTORAIR）

- ▶ ハンディファンは使用可能



All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

41

3.26 レシーブの順序

規則15 ダブルスでのレシーブの順序

セットの第1ゲームでレシーブするチームは、そのゲームの第1ポイントをどちらのプレーヤーがレシーブするか決める。同じように、相手チームは第2ゲームが始まる前に、そのゲームの第1ポイントをどちらのプレーヤーがレシーブするか決める。第1ポイントをレシーブしたプレーヤーのパートナーは第2ポイントのサービスをレシーブする。この順番はそのゲームとセットが終わるまで続けられる。

- ▶ 10Pマッチタイブレークはセットが変わるため、その開始前に、レシーブの順序、サービスの順序を変えてよい。

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

42

3.27 スコアがわからなくなった時

- ◆ セルフジャッジの試合中、スコアが分からなくなった

- ・双方が合意したポイントをカウントする
- ・合意したスコアに合わせたサイドからサーブする

問題

	1	2	3	4	5	
Aさん	○	○	?		○	Aさんは「ゲーム終了」
Bさん			?	○		Bさんは「40-30」

- ・スコアはいくつから再開すればよいですか？

答：「40-15」から再開する

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

43

3.28 スタートオブマッチ

- ◆ 22. スタートオブマッチとウォームアップ

- ▶ 両選手がコート内のベンチに到着後1分以内にネット中央に集まる
- ▶ コイントス後、決められたウォームアップを開始する
 - ・決勝は5分以内、それ以外はサーブ4本のみ（ローカルルール）
- ▶ ウォームアップ終了後1分以内に試合を開始する

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

44

3.29 間違いの訂正(1)

<ダブルスゲーム>

P21

・ゲームの最初のサーブを、AB組のAが打つところを間違ってBが打った。

①ファーストサーブがフォルトになったところで間違いに気が付いた場合は？

Aのセカンドサーブから続行する

②ファーストポイントが決まったところで間違いに気が付いた場合は？

第1ポイントは有効で、Aのサーブで次のポイントを開始する

③ゲームが終了していた場合は？

入れ替わったままの順番で続行する

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

45

45

3.29 間違いの訂正(2)

<タイブレーク>

P21

・タイブレーク中のサーブを、AB組のAが打つところを間違ってBが打った。

①ファーストサーブがフォルトになったところで間違いに気が付いた場合は？

Aのセカンドサーブから続行する

②ポイントが決まったところで間違いに気が付いた場合は？

偶数ポイントが終わった後:正しい順番に戻す

奇数ポイントが終わった後:入れ替わったまま

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

46

46

3.29 間違いの訂正(3)

<スタンダードゲーム・タイブレーク>

P21

・ダブルスにおいて、パートナー同士のレシーブ陣形が入れ替わっていることに気が付いた。

そのゲームだけはそのままプレーを続け、
そのチームが次にレシーブする順番のゲームになった時に本来の陣形に戻す

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

47

47

3.29 間違いの訂正(4)

<スタンダードゲーム・タイブレーク>

P20

・ダブルスのファーストサーブを打ったところで、レシーブサイド(エンド)が違うことに気が付いた。

①ファーストサーブがフォルトの場合は？

レシーブサイドを正しくし、セカンドサーブから続行する

②ポイントが決まったところで間違いに気が付いた場合は？

レシーブサイドを正しくし、スコアに応じた正しいエンドからサーブをする

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

48

48

3.29 間違いの訂正(5)

＜ノーアド方式について＞

P49

ノーアドの試合で、誤ってスタンダード方式で行い、誤りに気がついた場合は、

- ◆ 誤りに気がついた時デュースであったら、ただちにノーアドに切り換える。
- ◆ デュースの後、ノーアドでプレーすべき所をレシーバーチョイスなしでデュースコートから1ポイントをプレーし間違いに気が付いた場合は、その結果のまま成立させ、そのゲームは終了したものとする。
- ◆ 誤りに気がついた時ゲーム終了だったら、その結果は成立する。

質問：気がついた時にプレーを止めて良いか

回答：デュースの後、ノーアドでプレーすべきところをデュースコートから1ポイントをプレーし、インプレー中に気が付いたとしても、途中で止めないで、そのポイント終了後に対処する。
(妨害には当たらないのでレットはかけられない。)

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

49

49

3.30 ルール Q&A

◆ 日本テニス連盟(JTA) ルール Q&A

ルールに関して特にご質問が多い内容をQ&A形式でまとめています。

<https://www.jta-tennis.or.jp/tabid/737/Default.aspx>

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

50

50

End

All Rights Reserved, Copyright © Atsugi Tennis Association

51

51